

各学校長 様

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
支部長 細田 宏

令和 2 年度 「学び合い・高め合い」 支援事業について

令和 2 年度の当支部事業計画に基づいて、各学校を対象として「学び合い・高め合い」支援事業を行います。つきましては、下記により申請されますようお知らせいたします。

1 趣 旨

日本の教育の素晴らしさの一つに、先人たちが良き教育の姿を求めて真摯に取り組んできた実践の蓄積があります。そして近年、さらにより良き教育を求め、生徒が協働して学び、主体的な学習をすることを目指す「アクティブ・ラーニング」が注目されています。こうした互いに学び合い、良さを共有する教育の高まりは教員及び学校間においても重要なテーマになっています。

当支部では、過去 8 年間にわたり、各学校の教育実践を積極的に支援するために、学校研究助成、環境教育、国際理解教育、キャリア教育、防災教育、ICT 活用教育、「学び合い・高め合い」支援事業を推進して、各学校の優れた教育実践を掲載した「研究・実践成果報告集」にまとめてまいりました。

当支部では、こうした素晴らしい研究・実践成果を校種や地域を越えて、さらに活かし、優れた教育実践を共有する場として、学校間での「学び合い・高め合い」を支援する事業を行っております。この事業は、今後の様々な教育の充実・発展に意欲的に取り組まれる学校を積極的に支援して、さらなる教育の振興に寄与することを目的とします。

2 申請要件

1 の趣旨に沿って、平成 24 年度～令和元年度までに刊行された「研究・実践成果報告集 1～8」に掲載された他校の教育実践を活用して（「学び合い」）、自校の課題等に応じた研究・実践に作り替えようとする（「高め合う」）学校を支援します。

「学校研究助成」への申請と重複することは可とします。また、「環境教育支援事業」・「国際理解教育支援事業」・「キャリア教育支援事業」・「防災教育支援事業」・「ICT 活用教育支援事業」への申請との重複も可とします。**ただし、いずれの場合も、同一テーマ・内容での申請はできないものとします。**

なお、令和元年度に「学び合い・高め合い」支援事業で助成を受けた学校も申請を可とします。

3 申請手続

別紙「助成申請書」に、「研究・実践活動計画書」（所定様式）及び振込先金融機関通帳のコピー（P41 参照）を添付して提出してください。**申請書、計画書は、当支部 HP の PDF データに名前を付けて保存し、入力・作成が可能です。**

4 申請期間 令和 2 年 4 月 10 日（金）～ 6 月 2 日（火）弘済会必着（厳守）

5 審査・選考

提出された「研究・実践活動計画書」等により、当支部の教育振興事業選考委員会が審査・選考を行います。

6 助成内容

審査・選考の上、600 校程度に研究助成金として、1 校 10 万円～3 万円を贈呈します。

7 報 告

助成を受けた学校は、研究・実践活動の成果を、**令和 3 年 2 月 26 日（金）**までに、「**研究・実践活動成果報告書**」（所定様式）に研究・実践活動の集録等の資料を添えて報告いただきます。

なお、提出された「研究・実践活動計画書」、「研究・実践活動成果報告書」、資料等は、当支部が公表できるものとします。**報告書は、当支部 HP の PDF データに名前を付けて保存し、入力・作成が可能です。**

8 提出先 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部 教育研究助成係

<https://www.kyoko.or.jp/> 電話：048-822-7551(代)

令和2年度 「学び合い・高め合い」支援事業 助成申請書

令和2年 月 日

公益財団法人

日本教育公務員弘済会埼玉支部

支部長 細田 宏 様

貴支部の「学び合い・高め合い」支援事業の助成を受けたく、「研究・実践活動計画書」を添えて申請します。

学校名			校長名	公印
所在地	〒 _____			
電話			F A X	
研究題目 (テーマ)	(※ 副題(サブテーマ)も含めて、50字以内で記入して下さい。) 			
「学び合い・高め合い」活用事例	成果報告集	平成 () 年度 研究・実践成果報告集 () P. () ~ () (※参考にした学校の当該ページのコピー(A3)を必ず添付してください。) ※令和		
	学校名	(_____ 立 _____ 学校)		
	事業名	学校研究・環境教育・国際理解教育・キャリア教育・防災教育・ICT活用教育・ 「学び合い・高め合い」支援 (事業を○で囲む。)		
教育研究事業への申請状況	学校研究・環境教育・国際理解教育・キャリア教育・防災教育・ICT活用教育 (※今年度、申請をしている事業を○で囲む。)			
当事業で過去に助成を受けた年度	(平成)	29	・	30 (令和) 元年
助成金の主な用途				
助成金振込先	信金・農協 銀行 _____ 支店		口座番号 _____	
	フリガナ 名 義 人	_____ _____		

※1 貼付例 (P41参照)により、**振込先金融機関通帳のコピー**を必ず添付してください。

※2 **名義人**の名称を**正確**に記入し、**必ずフリガナ**をつけてください。

申請書は、当支部HPのPDFデータに名前を付けて保存し、入力・作成が可能です。

令和2年度 「学び合い・高め合い」支援事業 研究・実践活動計画書

学 校 名		校 長 名	
研 究 題 目			
研究題目の 設定理由			
実践計画			
成果指標			
今後の見通し 及び課題			
資 料 等	○参考にした学校のコピー（A3）を必ず添付のこと。		

※1 上記の項目ごとに、【記入例】に記載された観点を踏まえてご記入ください。

※2 2枚以上になっても結構ですが、資料等は別添としてください。

計画書は、当支部HPのPDFデータに名前を付けて保存し、入力・作成が可能です。

学 校 名		校長名	
研 究 題 目	○「助成申請書」に記載した研究題目（テーマ）を記入してください。		
研究題目の 設定理由	○他校の教育実践をどのように活用したいのか。参考にした学校の取組に言及すること。 ○自校の課題等に応じた研究・実践にどのように作り替えたか。 ○課題をどのようにとらえ、何を目標にどのように取り組んでいくのか。		
実践計画	○昨年度のこの事業の助成校は、前年度の実践をより充実・発展させた内容を記述。 ○年間を通した研究・実践であるか。 ○全校の動き、学年の動きをどのように企画したか。 ○どのような組織で、計画的に取り組むのか。 ○学校とPTA、地域等との外部機関との連携はどう図るのか。 ○どういう点で特色ある創造的な取組であるか。		
成果指標	○どのような成果を期待し、どのように評価するのか。 ○児童・生徒の成長や変容を具体的にどのように測るか。 ○保護者、地域からの理解や協力をどのように深めるか。		
今後の見通し 及び課題	○この実践がさらにどのように進展していくと考えているか。 ○この実践を続けていく上での課題は何か。		
資 料 等	○参考にした学校のコピー（A3）を必ず添付のこと。 ○使用した文献、資料、施設等あれば具体的に記入してください。		


※1 上記の項目ごとに、【記入例】に記載された観点を踏まえてご記入ください。

※2 2枚以上になっても結構ですが、資料等は別添としてください。

計画書は、当支部HPのPDFデータに名前を付けて保存し、入力・作成が可能です。

通帳コピーの添付例

店番	口座番号	埼玉教弘高等学校 様
500	0046400	
埼玉りそな銀行	普通預金通帳	



RESONA

りそなを
ご利用いただきありがとうございます。

おなまえ
サイタマキョウコウコウトウガツコウ 様

T0201341

発行日	店番	科目	口座番号
15-03-06	500	普通	0046400

普通預金	税区分 総合
------	--------

変更日	変更内容

印紙税申告納 付につき浦和 税務署承認済	(通帳作成地) 埼玉県さいたま市東区 株式会社埼玉りそな銀行	お取引店 埼玉りそな銀行 さいたま営業部 048-824-2411	
----------------------------	--------------------------------------	--	---

- (注) 1 上の例のとおり、通帳の表面と取扱店名等が明記された面をコピーしてお送りください。
- 2 名義人(学校・団体名等も)に必ずフリガナを付けてください。
- 3 取扱(支)店名を確認のうえ送付してください。特に、合併等により店名変更の場合などがありますので、必ず取扱店にご確認をお願いいたします。
- 4 申請後、名義人・取引銀行の変更などがあった場合は大至急ご連絡ください。